

県民医療費の動向

1 県民医療費の推移

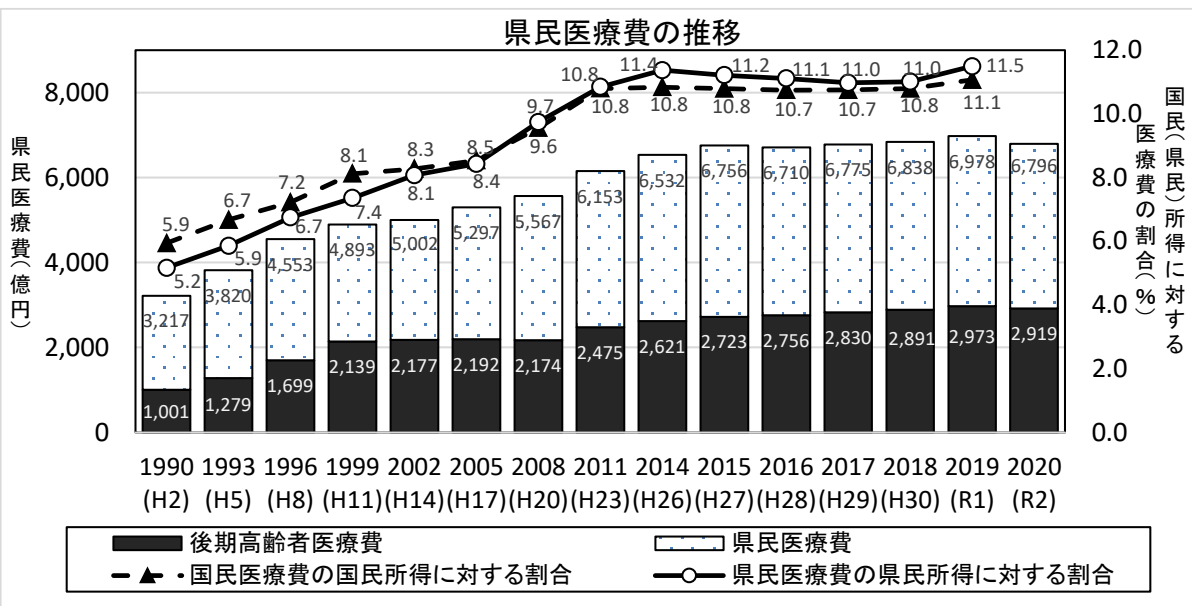
令和2年度（2020年度）の県民医療費は6,796億円で、前年に比べ182億円（2.61%）減少したものの年々増加傾向にあります。

令和2年度（2020年度）の後期高齢者医療費は2,919億円で、県民医療費の43.0%を占めています。全国では、国民医療費の38.6%を後期高齢者医療費が占めていますが、長野県は全国より4.4ポイント上回っています。

今後、75歳以上人口の増加に伴い、県民医療費に占める後期高齢者医療費の割合は一層増加するものと予想され、県民医療費も増加が見込まれます。

また、所得に対する医療費の割合も年々増加しています。

県民医療費の推移



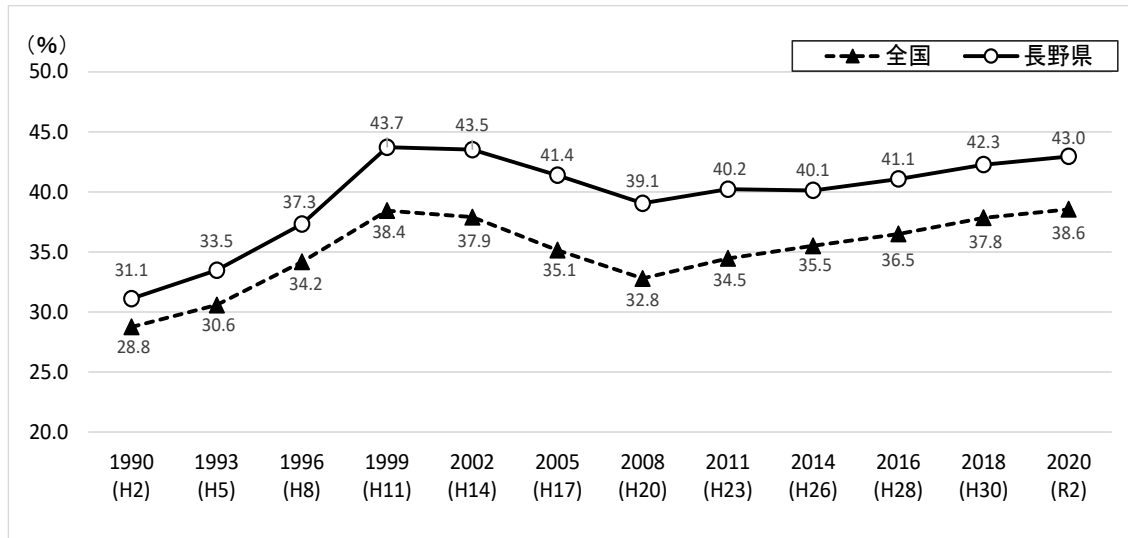
（厚生労働省「国民医療費」、「後期高齢者医療事業状況報告」）

※ 県民医療費については平成26年度までは3年毎、平成27年度からは各年公表となった。

※ 県民医療費の県民所得に占める割合の算出に用いた県民所得は、平成7年度以前は「平成11年度県民経済計算（平成2年基準）」、平成8～17年度は「平成21年度県民経済計算（平成12年基準）」、平成18～22年度は「平成30年度県民経済計算（平成23年基準）」、平成23～令和2年度は「令和2年度県民経済計算（平成27年基準）」による。

※ 国民医療費の国民所得に占める割合は、厚生労働省「令和2年度後期高齢者医療事業年報」による。

国民（県民）医療費に占める後期高齢者医療費の割合

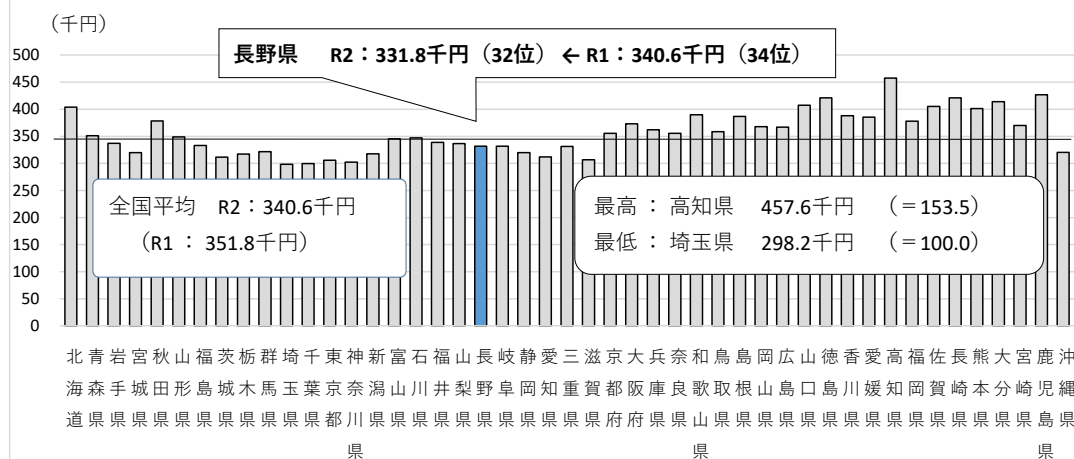


(厚生労働省「国民医療費」、「後期高齢者医療事業状況報告」)

2 1人当たり県民医療費の状況

令和2年度（2020年度）の1人当たり県民医療費は331.8千円で、全国平均の340.6千円と比較して8.8千円低く、全国第32位（低い方から16番目）となっています。

都道府県別1人当たり医療費

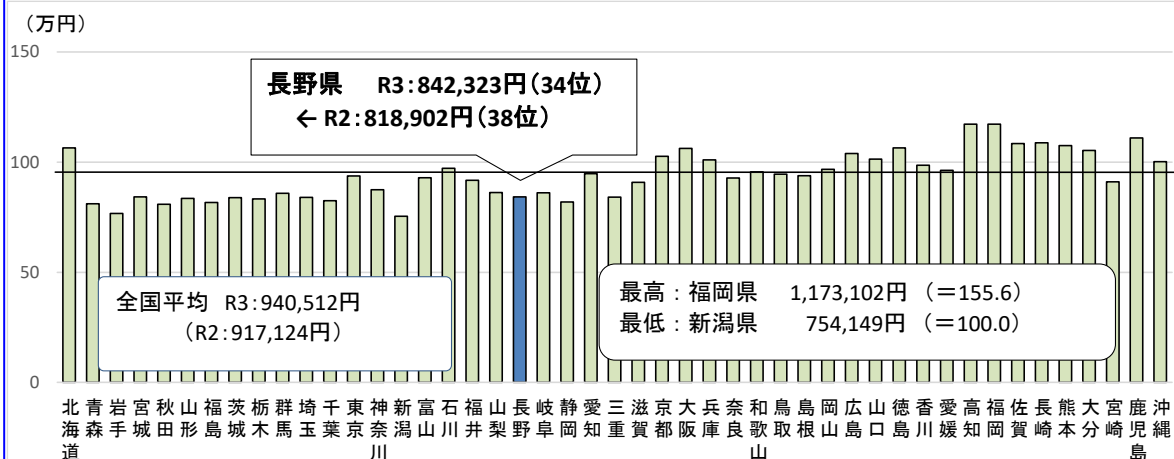


(厚生労働省「令和2年度国民医療費」)

3 1人当たり後期高齢者医療費の状況

長野県の令和3年度（2021年度）の1人当たり後期高齢者医療費は842,323円で、全国平均の940,512円と比較して98,189円低く、全国第34位（低い方から14番目）となっています。

1人当たり後期高齢者医療費の状況



(厚生労働省「令和3年度後期高齢者医療事業状況報告」)

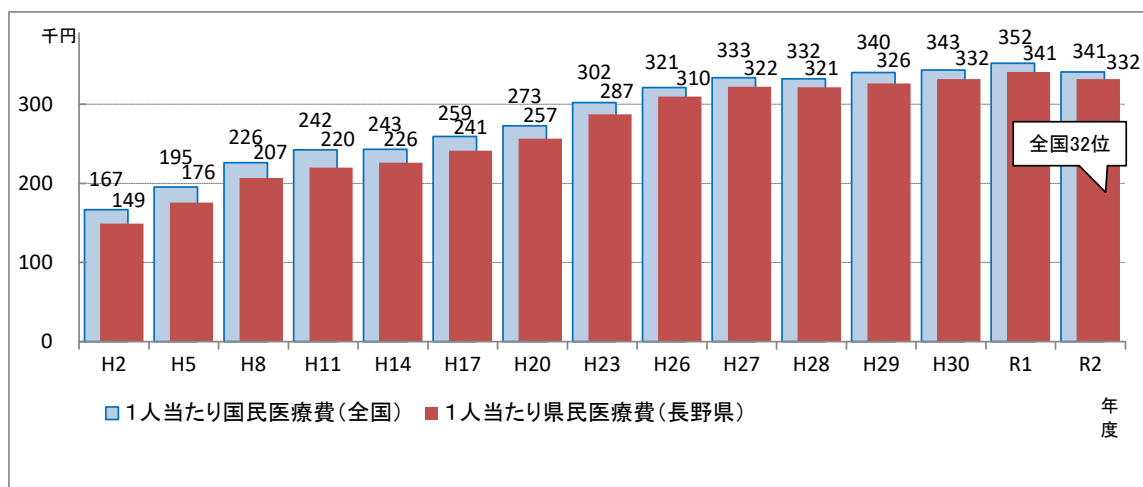
4 1人当たり医療費の推移

長野県の1人当たり県民医療費は、全国平均よりも低く推移してきましたが、長野県も全国も増加傾向にあります。

また、後期高齢者医療費も、1人当たり医療費が年々増加しており、平成2年度(1990年度)から平成19年度(2007年度)までは全国最低額でしたが、平成20年度(2008年度)には45位、令和3年度(2021年度)には34位となり、全国平均との差も小さくなっています。

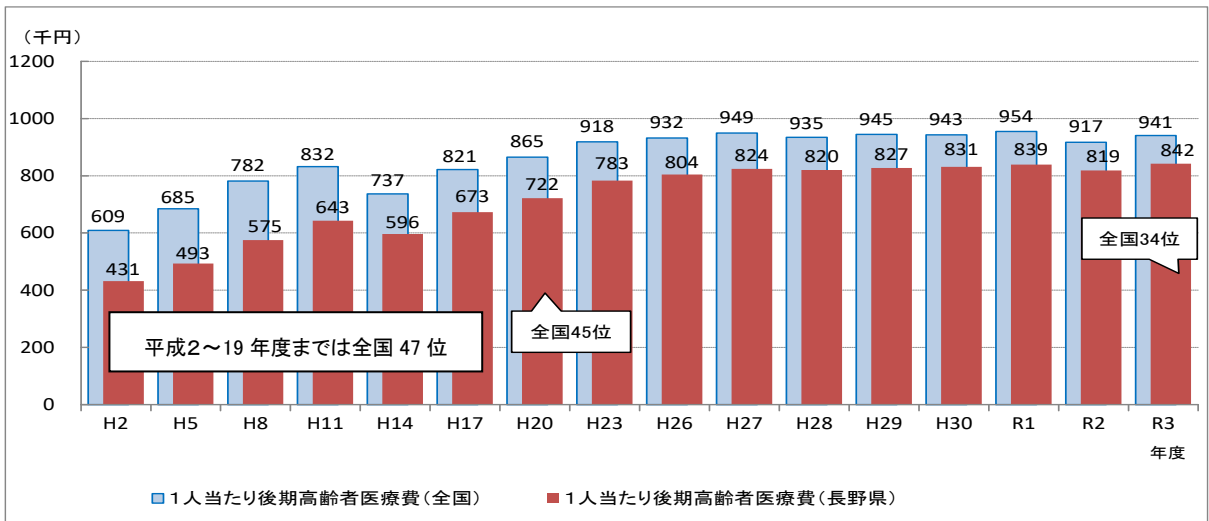
対前年度比は2.8%増で、伸び率では全国第12位です。

1人当たり国民(県民)医療費の推移



(厚生労働省「国民医療費」)

1人当たり後期高齢者医療費の推移



(厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」)

5 年齢階級別1人当たり医療費の状況

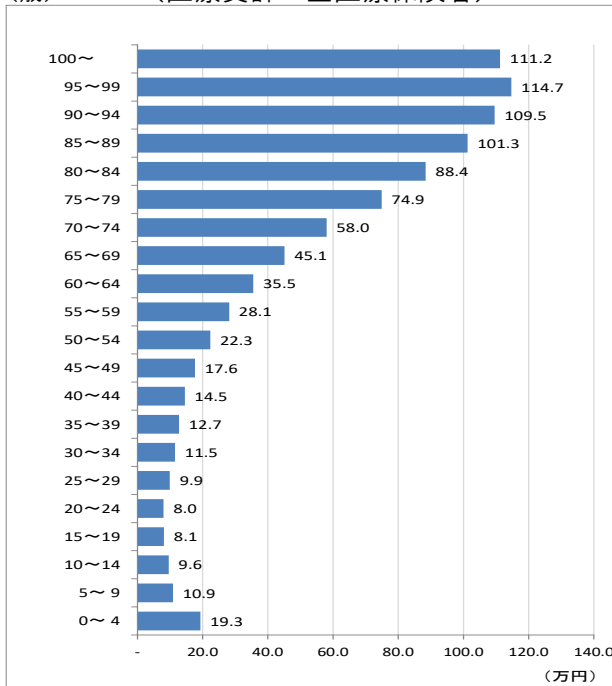
(1) 全国の状況

令和2年度(2020年度)の1人当たり医療費を年齢階級別にみると、20～24歳まで年齢とともに徐々に下がり、その後は年齢が上がるとともに高くなっています。

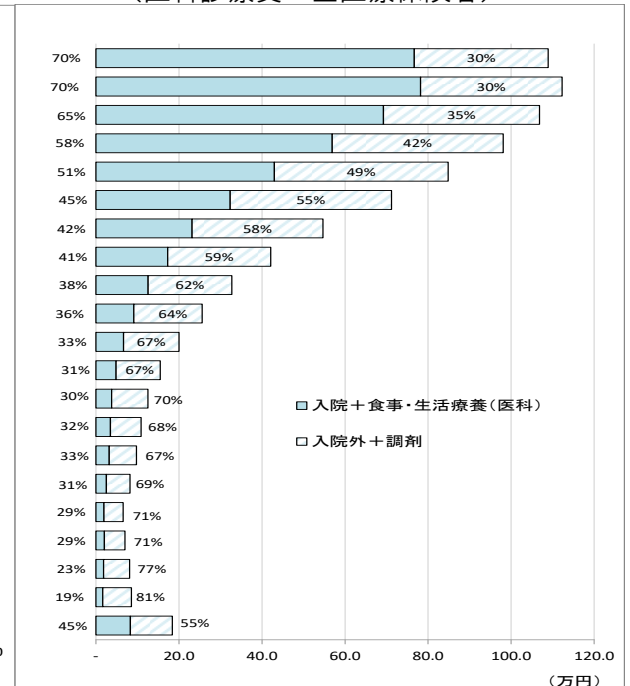
70歳代までは外来(入院外+調剤)の割合が高く、80歳代になると入院(入院+食事療養)の割合が高くなっています。

年齢階級別1人当たり医療費の状況(全国)

(歳) (医療費計・全医療保険者)



(医科診療費・全医療保険者)



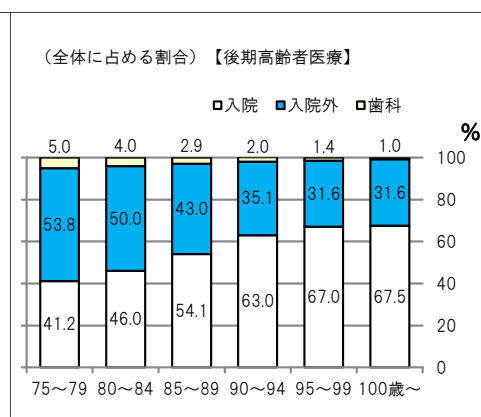
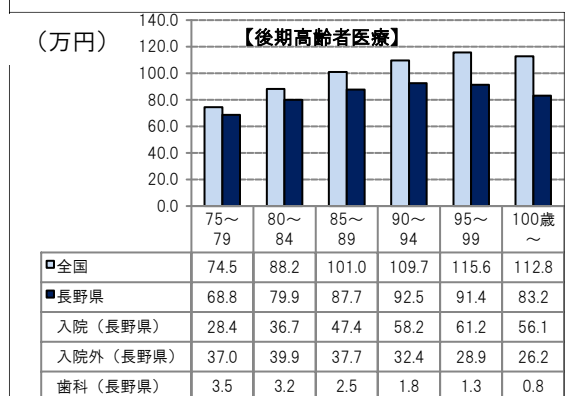
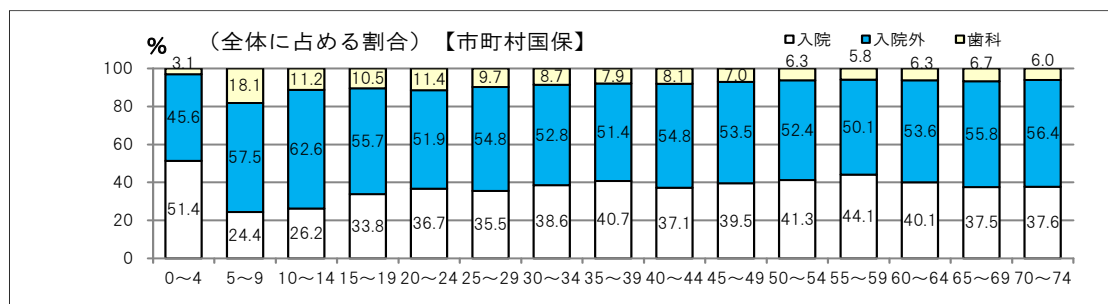
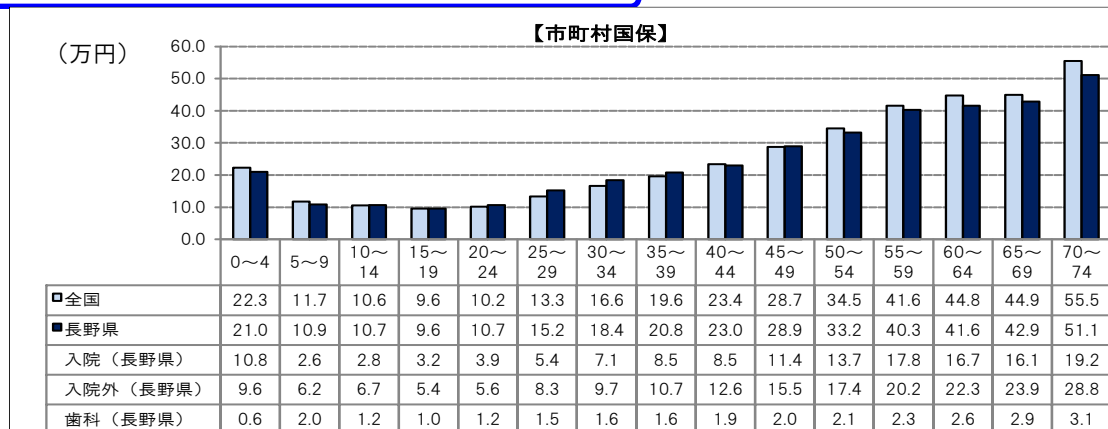
(厚生労働省「令和2年度医療給付実態調査報告」)

(2) 長野県の状況

長野県の年齢階級別1人当たり医療費は、全国と同様に、15～19歳までは年齢とともに徐々に下がり、その後は年齢とともに高くなっています。今後も、高齢化の進展に伴い、医療費の増加が見込まれます。

1人当たり医療費に占める割合を診療種別でみると、80歳代前半までは入院外（入院外＋調剤）の割合が高く、80歳代後半になると入院（入院＋食事療養）の割合が高くなっています。

年齢階級別1人当たり医療費の状況（長野県）



※65～74歳の障害認定を受けた者を除く

（厚生労働省「令和3年度医療費の地域差分析」）

（注1）療養費等を含まないため、1人当たり県民医療費や各種事業年報とは数値が異なる

（注2）入院医療費には入院時食事・生活療養費を含み、入院外医療費には調剤医療費を含む。

疾病別医療費の状況

1 疾病分類別医療費の状況

令和5年（2023年）5月診療分の診療費を疾病大分類（19分類）別にみると、国民健康保険では「新生物」が最も多く、全体の17.2%を占めており、次いで「循環器系の疾患」が全体の14.2%を占めています。

また、後期高齢者医療では、「循環器系の疾患」が最も多く、全体の23.7%を占めており、次いで「筋骨格系及び結合組織の疾患」が全体の13.2%を占めています。

また、疾病中分類（120分類）別に診療費をみると、生活習慣と関連が深いと考えられる疾病が全体の34.5%を占めています。

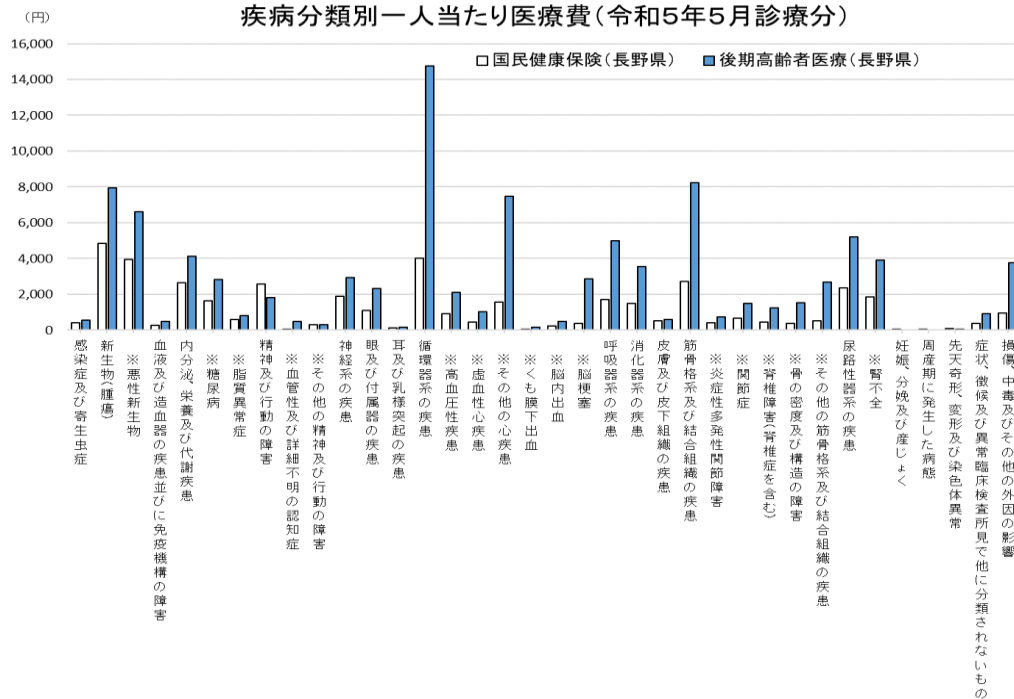
疾病分類別医療費の状況（長野県）

疾病大分類別医療費の上位3疾病（令和5年5月診療分）

	国民健康保険		後期高齢者医療			
	診療費	割合	診療費	割合		
1位	新生物(腫瘍)	1,970百万円	17.2%	循環器系の疾患	5,505百万円	23.7%
2位	循環器系の疾患	1,632百万円	14.2%	筋骨格系及び結合組織の疾患	3,071百万円	13.2%
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	1,108百万円	9.7%	新生物(腫瘍)	2,965百万円	12.7%

国民健康保険+後期高齢者医療			
	診療費	割合	
1位	循環器系の疾患	7,137百万円	20.5%
2位	新生物(腫瘍)	4,935百万円	14.2%
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	4,179百万円	12.0%

疾病分類別一人当たり医療費（令和5年5月診療分）



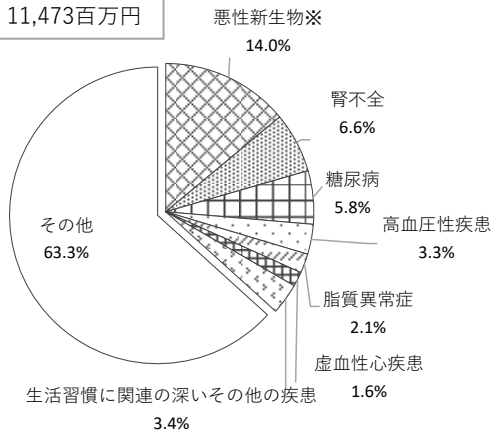
KDB 疾病別医療費分析（大分類、中分類）令和5年7月作成（5月診療分）より
 ※は、左側に記載の疾病の再掲（内数）

- (注1) 疾病大分類は、社会保険表章用疾病分類表（19分類）に基づく分類
- (注2) 疾病中分類は、社会保険表章用疾病分類表（120分類）に基づく分類
- (注3) レセプトには、通常複数の病名が記載されていることがあるが、ここでは最大医療資源傷病名（レセプトに記載されている傷病名と摘要から金額が最も高いとKDBシステムが算出した傷病名）を主たる病名として算出している。

生活習慣病に関連の深い疾病の割合（令和5年5月診療分）

長野県（国民健康保険）

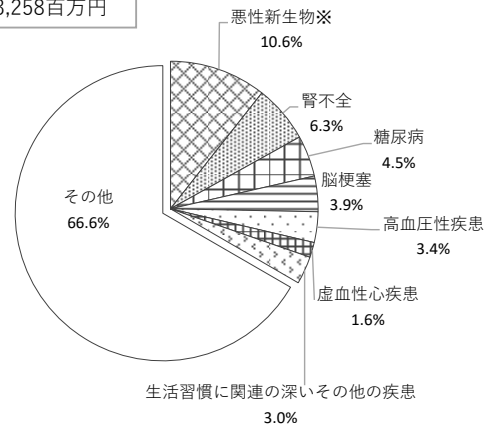
総計 11,473百万円



生活習慣に関連する疾患の割合：36.7%
4,211百万円

長野県（後期高齢者医療）

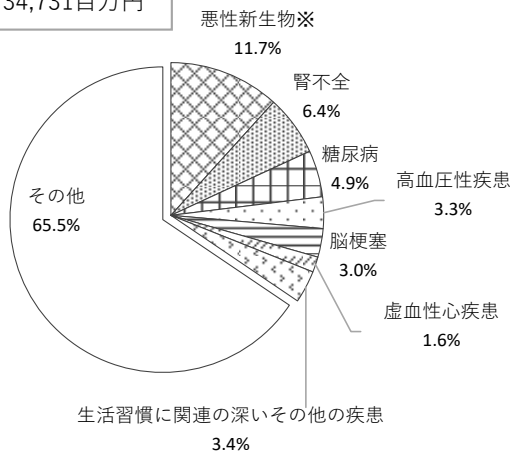
総計 23,258百万円



生活習慣に関連する疾患の割合：33.4%
7,759百万円

長野県（国民健康保険＋後期高齢者医療）

総計 34,731百万円



生活習慣に関連する疾患の割合：34.5%
11,970百万円

（KDB 疾病別医療費分析（中分類）令和5年7月作成（5月診療分））

※ここでは、生活習慣に関連が深い疾病として、次の12疾病を抽出している。

- ・悪性新生物※ ・糖尿病 ・脂質異常症 ・その他の内分泌、栄養の疾患 ・高血圧性疾患
- ・虚血性心疾患 ・くも膜下出血 ・脳内出血 ・脳梗塞 ・脳動脈硬化（症） ・動脈硬化（症）
- ・腎不全

（注1） 社会保険表章用疾病分類表（120分類）に基づく分類

（注2） レセプトには、通常複数の病名が記載されていることがあるが、ここでは最大医療資源傷病名を主たる病名として算出している。